

## シリーズ 社会福祉法人の力を地域に

### ～社会福祉法人の地域における公益的な取組を紹介～

社会福祉法が改正され、すべての社会福祉法人は、「地域における公益的な取組」を行うことが責務として規定されました。社会福祉法人の公益性・非営利性など、その本旨に従い、他の事業主体では困難な福祉ニーズへの対応が求められています。

#### 「インクルーシブな地域を目指して ～社会福祉法人が連携して取組む交流事業～」 社会福祉法人 あおぞら福祉会、紫志の会

##### 取り組みの経緯

(社福)あおぞら福祉会は、野々市市で障害福祉サービス事業所フォルムののシティを運営しています。そこから300mほど離れた場所に(社福)紫志の会が運営する幼保連携型認定こども園エンジェル保育園があります。

あおぞら福祉会は、障害がある人の理解の促進のため、紫志の会は、幼児期の子どもたちが障害を含めた多様性に係る感性を涵養するため、それぞれ交流することを望んでいました。野々市市法人連絡会で両法人が出会い、近隣の法人同士で交流することとなりました。



ボッチャ交流の様子  
白いボールの近くに球をつけたチームが勝ち

##### 一方向ではない「交流」



交流の最後には、サプライズで感謝のレイがプレゼントされました

交流当日は、こども園の園児が施設に訪問し、クイズやボッチャをとおして交流をしました。最初は、お互いにちょっとだけ緊張していましたが、クイズが始まったとたん緊張がふきとび、打ち解け合いました。

ボッチャでは、仲間を応援したり、良いプレーをした方に「うまーい！」と声をかけたり。交流が終わりの時間になっても名残惜しそうに「また対決しよう」「今度はうちに来てね」と声をかけあっていました。

##### これからの取り組みについて

【フォルムののシティ】、みんなが本当に楽しそうで、良かったと思っています。子どもたちを優しいまなざしで見つめる方がいたり、プレーについてアドバイスをする方がいたり、と新たな一面を発見することもできました。これからも地域でできることを模索していきたいと思っています。

【エンジェル保育園】交流にあたり、職員で打合せを重ねました。今回、うまく進むか心配もありましたが、子どもたちの柔軟性を信じて良かったと思います。子どもたちの成長の機会と、職員の学びの機会をいただき感謝しています。今回がきっかけとなり、次に出会ったときに声をかけあえる、そんな地域づくりにもつながればと思っています。



フォルムののシティ  
柴田所長



エンジェル保育園  
山崎園長

【問い合わせ】(社福)あおぞら福祉会 フォルムののシティ TEL076-227-8950

(社福)紫志の会 幼保連携型認定こども園エンジェル保育園 TEL076-248-2888  
地域における公益的な取組をシリーズで発信していきます。情報をお寄せください。